



Site Survey and Planning ワークシートの例

ONTAP FLI

NetApp
January 07, 2026

目次

Site Survey and Planning ワークシートの例	1
Site Survey and Planning ワークシートの例	1
Site Survey and Planning ワークシートの連絡先タブ	1
Site Survey and Planning ワークシートのアンケートタブ	2
Site Survey and Planning ワークシートのスイッチタブ	3
Site Survey and Planning ワークシートのソースストレージデバイスタブ	4
Site Survey and Planning ワークシートの Destination Storage Devices タブを参照してください	5
Site Survey and Planning ワークシートの Hosts タブ	6
Site Survey and Planning ワークシートの HBA and Zone Information タブ	6
Site Survey and Planning ワークシートのソース LUN タブ	7
Site Survey and Planning ワークシートのストレージグループタブ	7
Site Survey and Planning ワークシートの LUN Details タブ	8
Site Survey and Planning ワークシート NetApp LUN Layouts タブ	10
Site Survey and Planning ワークシートの Migration Schedule タブで	10
Site Survey and Planning ワークシートのアグリゲータステータスタブ	10
Site Survey and Planning ワークシートの FAS 設定タブ	11
Site Survey and Planning ワークシートの [SDS CLI Scripts] タブをクリックします	12

Site Survey and Planning ワークシートの例

Site Survey and Planning ワークシートの例

移行方法を決める分析フェーズと計画フェーズでは、Site Survey and Planning ワークシートを使用して、既存の構成、ターゲット構成、ギャップ、および修正計画を文書化する必要があります。

ここでは、Site Survey and Planning スプレッドシートに含める必要がある情報の種類の例を示します。推奨されるタブは次のとおりです。

- 連絡先
- アンケート
- スイッチ
- ストレージデバイス（移行元）
- ストレージデバイス（移行先）
- ホスト
- HBA およびゾーンの情報
- ソース LUN
- ストレージグループ
- LUN の詳細
- NetApp LUN のレイアウト
- 移行スケジュール
- アグリゲートステータス
- FAS 設定
- SDS CLI スクリプト

Site Survey and Planning ワークシートの連絡先タブ

Site Survey and Planning ワークシートの一部として、移行プロジェクトの担当者情報を含むタブを設定する必要があります。

次に、[連絡先] タブの設定方法の例を示します。

移行プロジェクトの担当者					
リソース名	組織	プロジェクトロール	会社の電話番号	携帯電話	Eメール

Site Survey and Planning ワークシートのアンケートタブ

Site Survey and Planning ワークシートの一部として、移行に関する最初のアンケートの移行プロジェクト情報を含むタブを設定する必要があります。

次の例は、アンケートタブの設定方法を示しています。

移行プロジェクト情報		
プロジェクトタイプ (Project Type)	<input type="checkbox"/> データ移行 <input type="checkbox"/> その他	
データ移行の目的		 目的 		
ソースデバイス	ストレージ： [ストレージタイプ] いいえ数： [いいえ数] シンプロビジョニング： <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	すべてのデバイスを列挙します
クライアントデバイス	オペレーティングシステム： [OSバージョン] SAN ブート： <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ MPIO： [MPIOバージョン] HBA： [HBAベンダー、モデル、ファームウェア]	
ファブリックスイッチ	ベンダー： モデル： ファームウェア： いいえ数：	
現在のプロトコル	<input type="checkbox"/> FCP <input type="checkbox"/> iSCSI	

移行プロジェクト情報		
Volume Manager の略	ベンダー： 製品： バージョン：	
デスティネーションデバイス（ストレージ）	ストレージ： [ストレージ] いいえ[数値] シンプロビジョニング： <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	このサービスではネットアップストレージコントローラのみを使用します
移行するデータの量（TB 単位）		 データ量 	93	概要と詳細（各ソースデバイス）
LUN の数		LUN 数 	93	概要と詳細（各ソースデバイス）
データの再構成	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	お客様は、移行の一環としてボリューム / ディレクトリ / フォルダ / ファイルを異なるデータ構造に移動することを希望していますか？
許容される停止範囲	停止期間 <input type="checkbox"/> 定義済み <input type="checkbox"/> 柔軟に対応 標準のメンテナンス時間ポリシー： [情報]	利用可能なシステム停止の回数と期間。メンテナンス時間がある場合は記入してください。
完了までの希望時間		 完了までの希望時間 		 時間の重要度 		
その他の関連情報		Other Relevant Information（その他の関連情報） 		
お客様の組織名と場所（都道府県および市区町村）		

Site Survey and Planning ワークシートのスイッチタブ

Site Survey and Planning ワークシートの一部として、移行のスイッチ情報を含むタブを設定する必要があります。

次に、Switches タブの設定方法の例を示します。

スイッチ							
最新	ネットアップを推奨します	ホスト名	IP アドレス	ベンダー	モデル	ファブリック名	VSAN / ドメイン
ファームウェア	ファームウェア	C9506-1-A	10.x.x.x	シスコ	9506	本番環境 A	10.

Site Survey and Planning ワークシートのソースストレージデバイスタブ

Site Survey and Planning ワークシートの一部として、移行元のソースストレージデバイスの情報を含むタブを設定する必要があります。

次に 'ソース・ストレージ・デバイス・タブ' の設定方法の例を示します

ストレージシステム				
アレイ名	IP アドレス	ベンダー	アレイモデル	マイクロコード FW/ONTAP
AMS2100	10.x.x.x	日立	AMS 2100	0893/B-X
AMS2100	10.x.x.x	日立	AMS 2100	0893/B-X
AMS2100	10.x.x.x	日立	AMS 2100	0893/B-X
AMS2100	10.x.x.x	日立	AMS 2100	0893/B-X

ストレージシステム				
コントローラ / ノード	ポート名	WWPN	ファブリック名	ターゲットタイプ (Target Type)
コントローラ 0	0a	50060E80xxxxxxxx	本番ファブリック A	ソース
コントローラ 0	0E	50060E80xxxxxxxx	本番ファブリック B	ソース
コントローラ 1	1A	50060E80xxxxxxxx	本番ファブリック A	ソース
コントローラ 1	1E	50060E80xxxxxxxx	本番ファブリック A	ソース

Site Survey and Planning ワークシートの Destination Storage Devices タブを参照してください

Site Survey and Planning ワークシートの一部として、移行先ストレージデバイスの情報を含むタブを設定する必要があります。

ストレージシステム					
クラスタ名	IP アドレス	アレイモード	ONTAP	Vserver	ポートタイプ (Port Type)
clustered Data ONTAP	10.x.x.x	FAS8080	8.3.1	データマート	ターゲット
clustered Data ONTAP	10.x.x.x	FAS8080	8.3.1	データマート	ターゲット
clustered Data ONTAP	10.x.x.x	FAS8080	8.3.1	DataMig-01	イニシエータ
clustered Data ONTAP	10.x.x.x	FAS8080	8.3.1	DataMig-01	イニシエータ

ストレージシステム				
ポート名	LIF 名	WWPN	ファブリック名	ターゲットタイプ (Target Type)
0c	miglif1	20 : 01 : 00 : a0 : 98 : 2f : xx : xx	本番環境 A	ターゲット
0d	miglif2	20 : 01 : 00 : a0 : 98 : 2f : xx : xx	本番環境 B	ターゲット
0a	該当なし	50 : 0a : 09 : 81 : 00 : xx : xx : xx	本番環境 A	ターゲット
0 億	該当なし	50 : 0a : 09 : 81 : 00 : xx : xx : xx	本番環境 B	ターゲット

次に、Destination Storage Devices タブの設定例を示します。

Site Survey and Planning ワークシートの Hosts タブ

Site Survey and Planning ワークシートの一部として、移行プロジェクトのホスト情報を含むタブを設定する必要があります。

次に、Hosts タブの設定方法の例を示します。

ホスト							
• 電流 *	• ネットアップ推奨 *	ホスト名	ドライバ	ファームウェア	HUK の場合	MPIO	SnapDrive
SnapManager	ホットフィックス	dm-rx200s6-21					
		dm-rx200s6-22					
		dm-rx200s6-20					

Site Survey and Planning ワークシートの HBA and Zone Information タブ

Site Survey and Planning ワークシートの一部として、HBA とゾーンの情報を含むタブを設定する必要があります。

次の例は 'HBA およびゾーン情報タブを設定する方法を示しています

ファブリックの詳細			
ホスト名	説明	WWPN	ファブリック名
dm-rx200s6-21	HBA0	21 : 00 : 00 : 24 : ff : xx : xx	本番環境 A
dm-rx200s6-21	HBA1	21 : 00 : 00 : 24 : ff : xx : xx	本番環境 B

ファブリックの詳細			
VSAN / ドメイン	ポート番号	移行前のゾーンメンバーシップ	移行後のゾーンメンバーシップ

ファブリックの詳細			
10.	FC2 / 3	rx21_AMS2100	rx21_flicDOT
10.	FC2 / 3	rx21_AMS2100	rx21_flicDOT

Site Survey and Planning ワークシートのソース LUN タブ

Site Survey and Planning ワークシートの一部として、ソース LUN の情報を含むタブを設定する必要があります。

次に 'ソース LUN タブ' の設定方法の例を示します

ソース LUN				
マスクされた LUN	ストレージグループ名	ホスト LUN ID	アレイ LUN の ID	シック / シン
UID	dm-rx200s6-21	0	30	厚み (Thick)
60060e801046b96004f2bf460000001e	dm-rx200s6-21	1.	14	厚み (Thick)
60060e801046b96004f2bf460000000e	dm-rx200s6-21	2.	15	厚み (Thick)

ソース LUN				
すべての LUN。 2a	カスタムプレフィックス	LUN 名	UID	開始セクター
パーティションオフセット (Partition Offset)		LUN 30		
368050176	0	LUN14		
33619968	0	LUN15		

Site Survey and Planning ワークシートのストレージグループタブ

Site Survey and Planning ワークシートの一部として、ストレージグループの情報を含むタブを設定する必要があります。

次の例は、Storage Groups (ストレージグループ) タブの設定方法を示しています。

ストレージグループ			
ソース	宛先	ホスト名	ストレージグループ
WWPN	igroup コマンド	dm-rx200s6-21	dm-rx200s6-21
21 : 00 : 00 : 24 : ff : 30 : 14 : C521 : 00 : 24 : ff : 30 : 14 : C4	igroup create -ostype windows protocol' fcp -vserver data datamig`- igroup dm-rx200s6-21 -initiator`21:00:00:24:ff:30: 14:c4,21:00:24:ff:30:14:24 :ff:30:14:C5	dm-rx200s6-22	dm-rx200s6-22
21 : 00 : 00 : 24 : ff : 30 : 04 : 8521 : 00 : 24 : ff : 30 : 04 : 84	igroup create -ostype linux --protocol' fcp` -vserver`datamig`-igroup dm-rx200s6-22 -initiator`21:00:00:24:01:0: 01:85,21:00:24:01:ff:24:01 :04:30:0:04:84	dm-rx200s6-20	dm-rx200s6-20

Site Survey and Planning ワークシートの LUN Details タブ

Site Survey and Planning ワークシートの一部として、LUN の詳細情報を含むタブを設定する必要があります。

次に 'LUN の詳細タブの設定方法の例を示します

LUN の詳細				
ソース	ホスト名	ストレージグループ	オペレーティングシステム	クラスタ化
ストレージコントローラ	dm-rx200s6-21	dm-rx200s6-21	Microsoft Windows Server 2012 R2 Datacenter	いいえ
AMS2100	dm-rx200s6-22	dm-rx200s6-22	Red Hat Enterprise Linux Server リリース 5.10	いいえ
AMS2100	dm-rx200s6-20	dm-rx200s6-20	ESXi 5.5.0 ビルド 1331820	いいえ
AMS2100	dm-rx200s6-20	dm-rx200s6-20	ESXi 5.5.0 ビルド 1331820	いいえ

LUN の詳細				
ソース	マウントポイント	物理ドライブ番号	ポート	バス
ターゲット	C :	PHYSICALDRIVE0	2.	0
0	/	SDA	0	0
0	Bootlun_Datastore	NAA.60060e801046b96004f2bf4600000014	0	0
0	VM_Datastore の場合	NAA.60060e801046b96004f2bf46000000015	0	0

LUN の詳細				
ソース	LUN	PG80 SN	PG83 SN / UID	LUN サイズ (GB)
開始オフセット (Starting Offset)	0		60060e801046b96004f2bf460000001e	40
0	0		60060e801046b96004f2bf4600000010	20
	0		60060e801046b96004f2bf4600000014	20
	1.		60060e801046b96004f2bf4600000015	40

LUN の詳細				
ソース	LUN タイプ	アライメント済み	カスタムプレフィックス (ブロック数)	カスタムプレフィックス (バイト数)
	Windows の場合	アライメント済み	0	0
	Linux の場合	アライメント済み	0	0
	VMware	アライメント済み	0	0
	VMware	アライメント済み	0	0

Site Survey and Planning ワークシート NetApp LUN Layouts タブ

Site Survey and Planning ワークシートの一部として、LUN レイアウトの情報を含まるタブを設定する必要があります。

NetAppLUN Layouts タブの設定例を次に示します。

NetApp LUN 情報						
ストレージコントローラ	アグリゲート	ボリューム名	ボリュームサイズ	ボリュームギャランティ	スナップリザーブ	LUN 名

NetApp LUN 情報						
S/N	LUN タイプ	カスタムプレフィックス	LUN 概要の略	GB サイズ	LUN リザーベーション	フラクショナルリザーブ

NetApp LUN 情報						
ボリュームのオートサイズ	Snapshot の自動削除	igroup	LUN ID	ホストタイプ	ドライブレター	ホスト

Site Survey and Planning ワークシートの Migration Schedule タブで

Site Survey and Planning ワークシートの一部として、移行スケジュールの情報を含まるタブを設定する必要があります。

次に、[移行スケジュール] タブの設定方法の例を示します。

移行スケジュール							
移行日	ホスト	OS	アプリケーション	ストレージコントローラ	LUN UID	LUN のサイズ	ステータス

Site Survey and Planning ワークシートのアグリゲートステータスタブ

Site Survey and Planning ワークシートの一部として、アグリゲートステータスの情報を含まるタブを設定する必要があります。

次の例は、Aggregate Status タブの設定方法を示しています。

ネットアップアグリゲート情報					
コントローラ	アグリゲート	合計サイズ (GB)	使用容量 (GB)	使用可能容量 (GB)	前のバージョン (Previous to Build Out)

Site Survey and Planning ワークシートの FAS 設定タブ

Site Survey and Planning ワークシートの一部として、FAS 設定の情報を含むタブを設定する必要があります。

次に、FAS 設定タブの設定方法の例を示します。

クラスタ名	クラスタ管理 IP アドレス	クラスタ管理クレデンシャルの有無	ONTAP システムマネージャホスト		
			* IP アドレス *	* 使用可能な資格情報 *	

ネットワークポート					
ノード	Interface Name の略	ポートタイプ	ポート速度	VLAN 名 / ID	IFGRP

SVM 名	を入力します	プロトコル	アグリゲート	SVM ルートボリューム

SVM	ボリューム	アグリゲート	サイズ	SAN
			* LUN 名 *	* LUN サイズ *

SVM ネットワークインターフェイス					
SVM	Interface Name の略	インターフェイスロール	IP アドレス / ネットマスク	ホームノード / ホームポート	フェイルオーバーグループ

SVM FCP ターゲットポート					
SVM	FCP ポート名	WWPN	WWNN	ホームノード	ホームポート

ノード FCP イニシエータポート					
ノード名	FCP ポート名	WWPN	WWN	ホームノード	ホームポート

Site Survey and Planning ワークシートの [SDS CLI Scripts] タブをクリックします

Site Survey and Planning ワークシートの一部として、 SDS CLI スクリプトの情報を含むタブを設定する必要があります。

次に、 [SDS CLI スクリプト] タブの設定方法の例を示します。

コントローラ 1	コントローラ 2
ボリュームサイズ vol0 aggr0 108g	
スナップリザーブ bootcampvol 0	
スナップリザーブ vol0 20	
snap autodelete bootcampvol on をクリックします	
snap autodelete bootcampvol コミットメントを試してください	
snap autodelete bootcampvol トリガーボリューム	
snap autodelete bootcampvol target_free_space 20 をクリックします	
snap autodelete bootcampvol defer_delete user_created	
vol0 の snap autodelete をオンにします	
snap autodelete vol0 コミットメントが試行されます	
snap autodelete vol0 によってボリュームがトリガーされます	
snap autodelete vol0 target_free_space 20 を削除します	
snap autodelete vol0 defer_delete user_created	
vol autosize bootcampvol on をオンにします	
ボリュームが vol0 のオートサイズを実行します	

コントローラ 1	コントローラ 2
vol options bootcampvol try_first volume_grow です	
vol options bootcampvol fractional_reserve 100	
vol options vol0 try_first volume_grow です	
vol options vol0 fractional_reserve 100	
qtree のセキュリティ /vol/bootcampvol unix	
qtree セキュリティ /vol/vol0 NTFS	
snap sched bootcampvol 0 0	
snap sched vol0 0 2 6 @ 8、12、16、20	
LUN が igroup にマッピングされていないため、 /vol/qavol_narayan/testlun の LUN マッピングがスキップされました。	
LUN が igroup にマッピングされていないため、 /vol/bootcampvol/dm25_boot_lun の LUN マッピングがスキップされました。	
LUN が igroup にマッピングされていないため、 /vol/bootcampvol/dm25_data1_lun の LUN マッピングがスキップされました。	
LUN が igroup にマッピングされていないため、 /vol/bootcampvol/dm25_data2_lun の LUN マッピングがスキップされました。	
LUN が igroup にマッピングされていないため、 /vol/bootcampvol/dm26_boot_lun の LUN マッピングがスキップされました。	
LUN が igroup にマッピングされていないため、 /vol/bootcampvol/dm26_data1_lun の LUN マッピングがスキップされました。	
LUN が igroup にマッピングされていないため、 /vol/bootcampvol/dm26_data2_LUN の LUN マッピングがスキップされました。	

コントローラ 1	コントローラ 2
LUN が igroup にマッピングされていないため、 /vol/bootcampvol/dm27_boot_lun の LUN マッピング がスキップされました。	
LUN が igroup にマッピングされていないため、 /vol/bootcampvol/dm27_data1_lun の LUN マッピン グがスキップされました。	
LUN が igroup にマッピングされていないため、 /vol/bootcampvol/dm27_data2_lun の LUN マッピン グがスキップされました。	

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。